

当別町の地域医療のあり方検討会議から報告書が提出されました

■ 問合せ

保健福祉課健康推進係 (☎ 23 - 4044)

■ 第3回会議の内容

9月14日に開催された第3回当別町の地域医療のあり方検討会議では、これまでの議論を踏まえ、当別町の地域医療のあり方にかかる検討結果を報告書にまとめるための意見交換を行いました。

意見交換では、

- ・入院病床を含めた町内の医療体制の確保のためには、医療機関の公的整備や民間誘致、医師や医療・介護スタッフの人材確保や人材育成が必要である。
- ・医療と介護の連携には、当別の地域性を踏まえた町民ニーズのほか、^{みと}看取り、在宅医療、介護施設、訪問看護、訪問介護がどのような現状で行われているか把握が必要である。

■ 「当別町の地域医療のあり方検討会議報告書」の内容

9月28日には、会議の坂野雄二座長（北海道医療大学地域連携推進センター長）より宮司町長へ「当別町の地域医療のあり方検討会議報告書」が、提出されました。報告書は、会議での検討結果が「総括的意見」と「分野別意見」に整理して記載され、その主な内容は次のとおりです。

<総括的意見>

すべての人が安心して暮らせるまち当別を目指して、地域の医療環境を守り育てる体制を可及的速やかに整備すること

- ・町は、地域医療環境の整備に向けた施策の実施に当たっては、町民の医療ニーズに応えるべく、既存の町内医療機関との連携を取りつつ、町民、地域医療関係者の相互理解の下、先頭に立って取り組むこと。他7項目



「当別町地域医療のあり方検討会議」では、3回の会議を経て、これまでの会議の議論を報告書としてまとめ、会議の坂野座長から宮司町長に提出されました。第3回会議と報告書の主な内容などは次のとおりです。

- ・初期救急医療に対する町民ニーズと現状を把握、分析した上で、広域の医療機関での連携を含めて、施設整備、人材確保の両面で必要な整備をしていただきたい。

などの発言が、委員からありました。

また、会議では、前回会議までの意見のまとめと、この会議での意見を合わせて、報告書として町に提出することが確認されました。

<分野別意見>

町民の医療ニーズに応える新たな医療を確保すること

- ・町内の地域医療の核として病床を持つ医療機関の必要性は極めて高く、町は認められる手続きを利用して、町内に病床を確保すること。他2項目

医療・看護・介護・福祉など多職種の連携と機能分担にかかる体制を整備すること

- ・町は、地勢や気候、人口、産業の構造などの地域性を捉え、住民ニーズを把握した上で、町に必要な医療、介護のサービスの基本的方針を明確にすること。他2項目

初期救急の対応医療機関を整備し、住民に周知すること

- ・町は、季節による初期救急医療ニーズの変化を考慮しつつ、基幹病院との連携や、江別、札幌等との広域連携を含めて、引き続き初期救急医療の体制整備を行うこと。他2項目

報告の中で坂野座長は、「会議では委員による活発な議論が続き、問題意識の高さが表れていた」と感想を述べたうえで、宮司町長へ「報告書の内容の実現に向けて早期に取り組みを進め、成果が上がることを期待します」と伝えました。これに対し宮司町長は、「報告書の内容を尊重し、早急に検討に取りかかりたい」と話しました。

この会議の議事要録と報告書の全文については、町ホームページに公開しています。



当別町の地域医療 近くの医療機関紹介 part 3

■ 問合せ

保健福祉課健康推進係 ☎ 23 - 4044

町民皆さんの健康を守ってくれる身近な医療機関を、9月号から連載しています。最終となる今回は、町内の2医療機関と身近にある大学病院をご紹介します。

おくやま内科・外科クリニック

私は所謂^{いわゆる}団塊の世代で、札幌生まれの札幌育ち、札幌北高、北大医学部第二外科出身です。大学に11年勤務、次いで美唄労災病院に30余年勤め、定年退職後ここに開業、お陰様で今年10年目を迎えることが出来ました。専門の消化器・呼吸器を中心した内科、乳腺・甲状腺、皮膚科、外来小手術を含む外科診療を行っています。診療は土曜日も午後5時迄やっています。趣味は読書、音楽・映画鑑賞、カラオケそして下手なゴルフです。本庄陸男「石狩川」、吉村昭「赤い人」を読み、当別の歴史を学びました。「当別文芸の会」にも毎回投

稿しています。現在、高校の同期数人とカラオケの会を作り、毎月定例で集まっています。しっかりと声を出して、親しい友人と歌うのはとても体に良いと思います。それから、日ハムのコアなファンです。どうぞよろしくお願い致します。

【院長 奥山茂樹】

【医療機関情報】 幸町 51 番地 32 ・ ☎ 27 - 5522

診療科目	受付時間	月	火	水	木	金	土
内科・外科	9時00分～12時00分	○	○		○	○	○
	14時00分～18時00分	○	○		○	○	
・神経内科	14時00分～17時00分						○

ふとみクリニック

当院は平成24年に“ふとみ”に開設、皆様のご愛顧とともに今年で6年目を迎えました。開設当初、クリニックの名前に「整形外科」と入っていないので、内科と間違われることもありましたが、整形外科の部門をメインに、スタッフ9名で診療を行っています。昨年は、遅ればせながら「リハビリ治療室」も開設することもできました。それぞれの方によって痛みなどの症状の原因が異なりますので、整形外科医として症状の原因を理解して頂くこと、精密検査が必要かそうでないか、手術の必要があるかそうでないかを見極めつつ、苦痛を和らげること、皆様の暮らし・人生を支え

ることを心掛けております。診療所が休診の火曜・金曜の午後には、病院受診が困難な方へ訪問診療を行っており、高齢者施設や個人宅での診療を行っています。今後も皆様の暮らしのお役に立てる「ふとみのホームドクター」として、至らぬことありますが、精進していきたく思っております。

【院長 秋田真秀^{ましまひで}】

【医療機関情報】 太美町 2343 番地 101 ・ ☎ 25 - 3800

診療科目	受付時間	月	火	水	木	金	土
整形外科	9時00分～12時00分	○	○		○	○	○
	15時00分～17時00分	○	訪問		○	訪問	

※月曜・木曜リハビリ 17時00分～18時00分

北海道医療大学病院



北海道医療大学病院（札幌市北区あいの里）は、当別町から一番近い大学病院です。さまざまな診療科や専門外来がありますので、医科のご紹介をします。

【診療科のご紹介】

■内科

糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病や発熱、倦怠感などの内科的症状に対して、内科専門医や糖尿病専門医が各科と連携しながら診療にあたっています。気管支喘息や肺炎などの呼吸器疾患については、週1回金曜日の午前に診察しています。

■消化器内科

腹痛・下痢・便秘・胸やけ・吐き気・食欲不振などの症状がある方の検査や診断、治療を行っています。検診（胃バリウム、便潜血、肝機能など）で、異常を指摘された方の精密検査も行っています。朝食を取っていないければ、受診当日に胃カメラが可能な場合もありますので、電話でお問い合わせください。内視鏡専門医、肝臓専門医の診察も受けられますので、ご希望の方は、電話で診療日を確認してください。

■循環器内科

胸部の痛みや不快感・息切れなどを感じる時、脈が飛ぶ・乱れる、動悸を感じる時の心臓や血管に関する病気の診断、治療を行っています。睡眠時無呼吸症候群の検査入院（金曜から1泊入院）も積極的に行っています。よく眠れた気がしない、いびきを指摘されたなど症状が気になる方は気軽に相談ください。

■小児科

新生児から中学生までを対象に内科疾患を診療する科です。子どもが診察を怖がらないように、問診、診察を工夫し、検査は最小限にしています。木曜は、小児看護専門看護師が育児やアレルギー、発達に関する相談をお受けしています。相談ご希望の方は、診察時にお申し出ください。

■内科・心療内科

ストレスによって生じた症状や病気を、必要に応じて臨床心理士とともに診療にあたる内科です。予約前にまずは相談に応じますので、一度ご連絡ください。なお、統合失調症、認知症、重度のうつ病や不眠症、発達障害については、専門の病院をご紹介します。

□ 医療心理室

臨床心理士が、生活の改善や治療上の工夫の仕方などについて専門的な立場からアドバイスをを行い、医師の指示のもと、心理検査や心理療法（カウンセリング）などを行います。当院心療内科を受診いただいた後に患者さんの症状に合わせて、認知行動療法などを用いて対応にあたります。

■眼科

角膜・結膜疾患、白内障、緑内障、加齢黄斑変性、網膜硝子体疾患、ぶどう膜炎、神経眼科疾患、涙道疾患、斜視・弱視など幅広い疾患を診療しており、関連病院ともスムーズな連携を図っています。手術入院は、担当医により3カ月から6カ月待ちの状態ですので、早めに受診していただくことをお勧めします。

■整形外科

上肢（肩・肘・手）、関節リウマチ、骨粗鬆症、神経・筋疾患、股関節・膝関節・足関節・脊椎疾患などに対して専門的診療を行います。症例に見合った適正な診断を行い、整形外科医師の診断に基づいて、必要な場合はリハビリ（外来）を提供しています。

□ リハビリテーション室

肩関節周囲炎、変形性膝関節症、腰部疾患（脊柱管狭窄症、ヘルニア）、頸部疾患（頸椎症、頸肩腕症候群）、変形性股関節症、スポーツ障害（肉離れ、腰椎分離症など）に対して、専門職員がリハビリを行っています。痛みや可動性の改善に加え、適切な身体の使い方を身につけることで、再発を予防できるようになります。



■皮膚科

年代を問わず、皮膚のトラブルはさまざまです。北海道は冬の寒さや乾燥が厳しいだけでなく、逆に夏の紫外線や暑さも肌には負担になることも多く、専門医がスキンケアの指導を含めた丁寧な診療を心がけています。

■耳鼻咽喉科

「耳が痛い」「聞こえが悪い」「鼻水が多い」「鼻がつまる」「のどが痛い」など、耳・鼻・のどの症状をお持ちの方の相談に応じています。声の出づらさ、詰まる感じ、聞こえづらさには、専門外来で対応します。手術や入院が必要な場合は、適切な病院をご紹介します。

□ 音声言語外来

「声が出にくくなった」「声がかれる」など、声に関する症状や「脳出血や脳梗塞の治療後に言葉がうまく出ない、呂律がまわらない」「口腔内の手術後に言葉をはっきり話すのが難しくなった」など言葉に関する症状、子どもの発音の障害や言葉の遅れ等、さまざまな症状に対して言語聴覚治療室との連携のもとに専門医が対応します。

□ 聴覚外来

補聴器の購入や調整を考えている方、高度難聴のため聴覚リハビリテーションが必要な方（補聴器、人工内耳）、幼児・小児の聴能訓練（補聴器、人工内耳）などに対して、医師と専任の言語聴覚士とが連携して対応します。

□ 言語聴覚治療室

話しことばの理解と表出、声や発音の異常、難聴、吃音、認知などの問題に、高次脳機能外来、音声言語外来と連携しながら評価、リハビリテーションを行います。



(上段左から) 齋藤医師、野口医師、酒井医師、吉田医師、河野医師、(下段左から) 工藤医師、森谷医師、北市病院長、青木医師、柴田医師

【医療機関情報】

北海道医療大学病院 ☎ 011 - 778 - 7575 (代表)
札幌市北区あいの里 2条 5丁目

診療科目	受付時間	月	火	水	木	金
内科・消化器内科・ 循環器内科・呼吸器内科	9時00分～11時30分	○	○	○	○	○
	13時30分～16時30分	○	○	○	○	○
内科・心療内科	9時00分～11時30分	○	○	○		○
	13時00分～16時30分				○	
小児科	9時00分～11時30分	○	○	○	○	○
	13時00分～16時30分	○	○	○	○	○
整形外科	9時00分～11時30分	○		○		○
	13時30分～16時30分	○	○		○	
眼科	9時00分～11時30分	○	○	○	○	○
	14時00分～15時30分	○				
耳鼻咽喉科	9時15分～11時30分	○	○	○	○	○
	13時00分～16時30分	○		○	○	○
皮膚科	9時00分～11時00分				○	

※診療科により曜日や時間が異なります。また、休診や診療時間の変更など詳細は、病院ホームページまたはお電話でご確認ください。

〈平成30年11月開設〉

□ 高次脳機能（物忘れ）外来

高次脳機能障害とは、病気やケガにより知覚・記憶・学習・思考・感情などに障害が起きた状態です。その一つである、「物忘れ」の診断・治療を行うために開設します。週1回完全予約制ですので、必ず事前にお問い合わせください。

【部門のご紹介（一部）】

□ 看護部

患者さんが安心してご自宅で生活できるように、外来で「看護相談」を行っています。月曜日は糖尿病の病気のことや足のケア、生活上の注意などの相談、木曜日はお子様の育児相談・皮膚のケア・発達に関する相談をお受けしています。予約制となっています。気軽にご相談ください。

□ 医療相談・地域連携室

患者さんやご家族のための「患者相談窓口」です。外来受診・入退院の相談や公的制度の説明、退院後の在宅支援（介護保険、施設の紹介）などを行っています。入院や転院の希望、受診のことでお困りの時は、医療ソーシャルワーカーと看護師にご相談ください。

☎ 011 - 778 - 7575 (代表)、平日9時～17時

